

令和8年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和7年11月11日

上場会社名 中日本興業株式会社

上場取引所 名

コード番号 9643

URL <http://www.nakanihonkogyo.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長

（氏名）服部 徹

問合せ先責任者（役職名）取締役 感動創造支援本部本部長

（氏名）加藤 康章 （TEL）052-551-0274

半期報告書提出予定日 令和7年11月12日

配当支払開始予定日

令和7年12月2日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 令和8年3月期第2四半期（中間期）の業績（令和7年4月1日～令和7年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
8年3月期中間期	2,210	24.8	165	—	173	—	143	—
7年3月期中間期	1,770	△8.3	△1	—	3	△97.5	△0	—
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
8年3月期中間期	270.73		—					
7年3月期中間期	△1.32		—					

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		％	
8年3月期中間期	5,698		3,471		60.9	
7年3月期	5,206		3,187		61.2	

（参考）自己資本 8年3月期中間期 3,471百万円 7年3月期 3,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
8年3月期	—	30.00			
8年3月期（予想）			—	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和8年3月期の業績予想（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	3,850	14.4	80	—	90	—	70	—	131.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

8年3月期中間期	540,000株	7年3月期	540,000株
8年3月期中間期	9,443株	7年3月期	9,443株
8年3月期中間期	530,557株	7年3月期中間期	530,584株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより景気は緩やかな回復基調となりました。その一方で、不安定な国際情勢に伴う原材料価格・エネルギーコストの高騰や物価上昇等の影響により、個人消費は伸び悩み、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社は、多くの皆様方にご愛顧いただき、11月1日に営業開始70年を迎えることとなり、これにお応えすべく、お客様が楽しんでいただけるようサービスの一層の向上を図るため、挑戦してまいりました。

その結果、売上高は22億10百万円（前年同期比24.8%増）、営業利益は1億65百万円（前年同期は営業損失1百万円）、経常利益は1億73百万円（前年同期は経常利益3百万円）、中間純利益は1億43百万円（前年同期は中間純損失0百万円）となりました。

【シネマ事業】

シネマ部門では、「国宝」、「劇場版『鬼滅の刃』 無限城編 第一章 猗窩座再来」などの作品が大ヒットしたことにより、興行収入は好調に推移し、前年同期を大きく上回る結果となりました。

また、コンセプションも新メニューの導入やオペレーションの改善による回転率の向上などにより、売上に貢献いたしました。

当上半期の主な上映作品としまして、邦画では、4月公開「#真相をお話しします」、6月公開「国宝」、8月公開の「劇場版『TOKYO MER～走る緊急救命室～南海ミッション』」、「8番出口」、洋画では、5月公開「ミッション：インポッシブル／ファイナル・レコニング」、6月公開「リロ&スティッチ」、「F1／エフワン」、8月公開の「ジュラシック・ワールド 復活の大地」、アニメでは、4月公開「名探偵コナン 隻眼の残像」、5月公開「劇場版 うたの☆プリンスさまっ♪ TABOO NIGHT XXXX」、7月公開「劇場版『鬼滅の刃』無限城編 第一章 猗窩座再来」、9月公開の「劇場版『チェンソーマン レゼ篇』」、ODS(映画以外のデジタルコンテンツ)では、5月公開「ミュージカル『刀剣乱舞』 十周年応援上映祭」、7月公開「韓国ミュージカル ON SCREEN『エリザベート』」、7月公開の「HYBE CINE FEST IN ASIA」などの番組を編成いたしました。

その他、独自のイベントを企画・運営することで、劇場の活性化を進めるための文化活動も行っておりました。

また、飲食部門である名古屋市千種区の「覚王山カフェJi. Coo.」では、商品のリニューアルや新商品の開発を進め、商品価値の向上に努めてまいりました。

名古屋市中村区の「ミッドランドシネマ ドーナツ ファクトリー」では、店舗・映画館のコンセプションでの売上は好調に推移し、7月・8月と月間の売上記録を更新いたしました。また、映画作品とのコラボレーションも積極的に実施いたしました。

この結果、当事業では売上高は20億1百万円（前年同期比26.2%増）、セグメント利益は1億63百万円（前年同期はセグメント損失14百万円）となりました。

【アド事業】

営業体制の強化を図るため増員し、新規開拓営業を積極的に努めてまいりました。特に、イベントの展示ブース装飾の営業に注力し、受注に結び付けることができました。

しかしながら、原材料費の高騰や人件費の増加等の影響で、厳しい状況でありました。

この結果、当事業では売上高は1億48百万円（前年同期比2.0%増）、セグメント損失は14百万円（前年同期はセグメント利益3百万円）となりました。

【不動産賃貸事業】

令和7年2月に竣工したクリニックテラス覚王山（医療モール）からの賃貸収入により、売上増となりました。

この結果、当事業では売上高は59百万円（前年同期比52.1%増）、セグメント利益は15百万円（前年同期比53.6%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当中間会計期間末の総資産は56億98百万円となり、前事業年度末に比べ4億91百万円の増加となりました。主な要因は、固定資産の増加2億57百万円によるものであります。

負債は、22億26百万円となり、前事業年度末に比べ2億7百万円の増加となりました。主な要因は流動負債の増加1億70百万円によるものであります。

純資産は、34億71百万円となり、前事業年度末に比べ2億84百万円の増加となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和8年3月期の業績予想につきましては、令和7年5月13日公表時から変更はございません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和7年3月31日)	当中間会計期間 (令和7年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	598,253	810,531
受取手形及び売掛金	241,813	337,468
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	13,226	13,991
原材料及び貯蔵品	5,877	8,583
前払費用	33,566	36,012
預け金	41,144	44,218
未収消費税等	75,216	-
未収還付法人税等	11,702	-
その他	23,824	28,336
流動資産合計	1,344,625	1,579,142
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,408,841	1,367,213
構築物(純額)	43,012	40,000
機械装置及び運搬具(純額)	69,261	63,870
工具、器具及び備品(純額)	281,685	265,588
土地	695,913	695,913
建設仮勘定	23,582	135,618
有形固定資産合計	2,522,296	2,568,206
無形固定資産		
電話加入権	1,147	1,147
ソフトウェア	110,457	96,408
無形固定資産合計	111,604	97,555
投資その他の資産		
投資有価証券	720,989	948,672
関係会社株式	10,000	10,000
差入保証金	474,440	474,745
長期前払費用	22,490	19,817
投資その他の資産合計	1,227,920	1,453,234
固定資産合計	3,861,821	4,118,997
資産合計	5,206,447	5,698,139

(単位:千円)

	前事業年度 (令和7年3月31日)	当中間会計期間 (令和7年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	400,140	438,265
短期借入金	-	110,000
1年内返済予定の長期借入金	34,992	34,992
リース債務	81,908	81,478
未払金	113,484	5,030
未払法人税等	5,415	35,231
未払費用	118,123	139,695
契約負債	58,944	62,649
従業員預り金	4,941	5,329
賞与引当金	19,000	19,330
その他	41,623	116,845
流動負債合計	878,574	1,048,847
固定負債		
長期借入金	553,346	535,850
リース債務	167,292	153,666
退職給付引当金	83,491	83,058
長期末払金	68,558	65,189
資産除去債務	91,467	92,217
受入保証金	75,020	75,020
繰延税金負債	101,287	172,726
固定負債合計	1,140,463	1,177,727
負債合計	2,019,037	2,226,575
純資産の部		
株主資本		
資本金	270,000	270,000
資本剰余金		
資本準備金	13	13
資本剰余金合計	13	13
利益剰余金		
利益準備金	67,500	67,500
その他利益剰余金		
配当準備積立金	59,346	43,429
別途積立金	2,380,000	2,380,000
繰越利益剰余金	199,075	342,712
利益剰余金合計	2,705,921	2,833,642
自己株式	△72,618	△72,618
株主資本合計	2,903,316	3,031,037
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	284,093	440,527
評価・換算差額等合計	284,093	440,527
純資産合計	3,187,409	3,471,564
負債純資産合計	5,206,447	5,698,139

(2) 中間損益計算書

	(単位：千円)	
	前中間会計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日)	当中間会計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年9月30日)
売上高	1,770,609	2,210,133
売上原価	858,371	1,123,249
売上総利益	912,238	1,086,883
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	29,906	24,181
人件費	332,301	338,460
賞与引当金繰入額	20,110	19,330
退職給付費用	3,393	5,288
減価償却費	88,790	94,603
地代家賃	200,284	200,348
水道光熱費	46,046	49,245
修繕費	2,860	1,996
その他	189,608	188,247
販売費及び一般管理費合計	913,302	921,700
営業利益又は営業損失(△)	△1,063	165,182
営業外収益		
受取利息	1,326	2,081
受取配当金	8,726	10,052
協賛金収入	64	128
その他	1,465	2,763
営業外収益合計	11,582	15,024
営業外費用		
支払利息	889	3,393
長期前払費用償却	3,034	3,150
その他	3,230	333
営業外費用合計	7,153	6,878
経常利益	3,365	173,329
特別損失		
固定資産除却損	—	2,035
特別損失合計	—	2,035
税引前中間純利益	3,365	171,293
法人税等	4,063	27,656
中間純利益又は中間純損失(△)	△698	143,637

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日)	当中間会計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	3,365	171,293
減価償却費	97,612	116,289
長期前払費用償却額	3,034	3,150
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,670	330
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,393	△433
受取利息及び受取配当金	△10,053	△12,133
出資分配金	△735	△969
支払利息	889	3,393
固定資産除却損	—	2,035
売上債権の増減額(△は増加)	△34,081	△95,654
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,354	△3,470
その他の流動資産の増減額(△は増加)	28,977	70,144
長期前払費用の増減額(△は増加)	1,947	△477
仕入債務の増減額(△は減少)	47,044	38,124
未払金の増減額(△は減少)	△10,590	40
未払消費税等の増減額(△は減少)	△34,333	—
未払費用の増減額(△は減少)	△18,286	21,572
契約負債の増減額(△は減少)	744	3,704
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△2,839	18,126
その他	△42,060	59,379
小計	31,342	394,444
利息及び配当金の受取額	10,053	12,133
利息の支払額	△889	△3,393
出資分配金の受取額	735	969
法人税等の支払額	△17,529	△573
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,712	403,581
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△119,798	△215,889
無形固定資産の取得による支出	△3,200	△5,183
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122,998	△221,073
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	110,000
長期借入金の返済による支出	△4,998	△17,496
リース債務の返済による支出	△43,550	△43,747
配当金の支払額	△21,225	△15,916
自己株式の取得による支出	△863	—
その他	—	△3,069
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70,636	29,770
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△169,923	212,278
現金及び現金同等物の期首残高	1,037,268	793,253
現金及び現金同等物の中間期末残高	867,345	1,005,531

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

I 前中間会計期間（自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	中間損益 計算書計上額
	シネマ	アド	不動産賃貸	計		
売上高						
映画館関連	1,509,619	—	—	1,509,619	—	1,509,619
飲食店関連	76,232	—	—	76,232	—	76,232
看板製作及び広告関連	—	145,403	—	145,403	—	145,403
顧客との契約から生じる収益	1,585,851	145,403	—	1,731,255	—	1,731,255
その他の収入	—	—	39,354	39,354	—	39,354
外部顧客への売上高	1,585,851	145,403	39,354	1,770,609	—	1,770,609
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,585,851	145,403	39,354	1,770,609	—	1,770,609
セグメント利益又は損失（△）	△14,761	3,637	10,059	△1,063	—	△1,063

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間会計期間(自 令和7年4月1日 至 令和7年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額	中間損益 計算書計上額
	シネマ	アド	不動産賃貸	計		
売上高						
映画館関連	1,911,934	—	—	1,911,934	—	1,911,934
飲食店関連	89,982	—	—	89,982	—	89,982
看板製作及び広告関連	—	148,369	—	148,369	—	148,369
顧客との契約から生じる収益	2,001,916	148,369	—	2,150,286	—	2,150,286
その他の収入	—	—	59,846	59,846	—	59,846
外部顧客への売上高	2,001,916	148,369	59,846	2,210,133	—	2,210,133
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,001,916	148,369	59,846	2,210,133	—	2,210,133
セグメント利益又は損失(△)	163,927	△14,194	15,450	165,182	—	165,182

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。